

総合戦略 効果検証シート

【資料1-1】

基本目標 (Plan)	1 はつかいちの「産業」はニュースにあふれている!!! ～そこ！に着目するはつかいち～						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
市内総生産額	3,539億円 (H29)	3,766億円 (R1)	3,667億円 (R2)			4,000億円	○

【KGI・KPIの進捗状況凡例】
◎: 目標値達成
○: 現状値(R1)から改善
△: 現状値(R1)と同数又は後退

【施策の評価凡例】
KPIの平均点が
4点以上: 達成 2点以上4点未満: やや達成 2点未満: 要改善
(KPIの進捗状況 ◎: 5点 ○: 3点 △: 1点)

施策体系		施策達成度							
施策1	コレできる！新しい仕事のカタチ発掘	要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	創業支援等事業計画を活用した市内創業者数		101人	69人	97人			110人	△
施策2	お宝ザクザクはつかいち	やや達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①JA産直市場の売り上げ高		1億9,000万円	2億9,000万円	3億1,000万円			2億2,000万円 (R3)	◎
	②認定農業者数・認定新規農業者数		32者	32者	34者			47者	○
	③認定農業者の内スマート農業に取り組む者		-	3者	3者			10者	△
	④漁業生産額		30億円 (H28)	30億円 (R2)	30億円 (R3)			30億円	◎
	⑤観光消費額		287億円	127億円	220億円			310億円	△
	⑥観光客一人当たりの消費額(観光消費額/観光客数)		3,627円	3,869円	4,094円			4,000円	◎
	⑦事業継続強化計画の認定を受けた市内事業者数(累計)		6社	58社	64社			50社	◎
	⑧産業経済団体、産業支援機関等を活用したビジネスマッチングへの参加事業者数		87社	43社	56社			100社	△
	⑨地元の食材を提供するホテル旅館及び飲食店数		-	-	-			10件	-
	⑩市内の農水産物を購入している市民の割合		31.8%	31.2%	31.9%			37.0%	○
	⑪産業支援機関等を活用した事業承継成立件数		0件	1件	2件			5件	○
	⑫産業支援機関等が開催するビジネスフェアへの参加企業数		17社	3社	1社			35社	△

施策3	新たな「人・モノ・コト」を開拓する	達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	法人市民税の申告件数		2,615件	2,572件	2,730件			2,615件	◎

総合分析 (Check)	<p>KGIの実績値(R2)は3,667億円であり、現状値(H29)3,539億円に対して128億円増加し、実績値(R1)に対して99億円減少しているが、令和2年度の市内総生産額は新型コロナウイルスの影響を受け、宿泊・飲食サービス業(R1:10,244百万円→R2:5,577百万円)で額が下がっていることが主要原因である。</p> <p>実績値は2年のタイムラグがあるため、令和4年度現在での施策達成状況を踏まえた分析が困難であるが、目標達成にはあと333億円増加させる必要がある。</p> <p>KGIの目標達成に向けては、創業者や認定農業者の確保、事業継承、観光ブランド力の向上などに力を入れ、進捗が△であるKPIを伸ばし、雇用の増大や生産・売上の拡大につなげていく。</p>
今後の対応 (Action)	<p>創業者若しくは創業間もない事業者を支援するため、新たに創業補助金を創設する。</p> <p>宮島での閑散期及び夜の魅力づくりや観光DX等の取組など、成長産業である観光産業に注力し、域際収支の赤字を改善するとともに、農業者への指導・設備投資等への支援などにより農林水産業等の底上げを図る。</p>

推進会議の意見

- ・「①JA産直市場の売り上げ高」について、令和7年度の目標値をすでに達成しているが、目標値が低いのではないか。
- ・「⑪産業支援機関等を活用した事業継承成立件数」について、事業継承に悩まれている事業者は多いと思うが、実績値が少ないのではないか。
- ・「⑫産業支援機関等が開催するビジネスフェアへの参加企業数」について、実績値が少ないが、情報が少なく事業者には伝わっていないのではないか。

総合戦略 効果検証シート

【資料1-1】

基本目標 (Plan)	2 住みたくなる！ちょういどいいまち ～そこ！そこ！！のはつかいち～意外と知らない、魅力いっぱい のまち						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
人口の社会動態	転入超過 (213人)	転入超過 (174人)	転入超過 (238人)			転入超過	◎

【KGI・KPIの進捗状況凡例】
◎:目標値達成
○:現状値(R1)から改善
△:現状値(R1)と同数又は後退

【施策の評価凡例】
KPIの平均点が
4点以上:達成 2点以上4点未満:やや達成 2点未満:要改善
(KPIの進捗状況 ◎:5点 ○:3点 △:1点)

施策体系		施策達成度								
施策1	ウェルカムはつかいち ～暮らしを楽しむ魅力いっぱい のまち～	要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況	
KPI	①市の取組を知り、廿日市市に暮らすことに興味・関心がわいた20 歳代～40歳代の割合		46.8%	46.0%	46.1%			60.0%	△	
	②20歳代～40歳代の転入者数		2,864人	2,475人	2,634人			2,900人	△	
施策2	はつかいち再発見	要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況	
KPI	現在の地域に住み続けたいと思う市民の割合		79.3%	78.0%	79.3%			80.0%	△	
総合分析 (Check)	<p>KGIの令和4年度実績は転入超過のため、進捗状況は「◎(目標値達成)」となっており、人数についても現状値、R3実績値を上回っている。 特に、大野地域では20代30代の転入が多いことから、子育て世代が大野地域を選んでいると考えられる。 一方で、中山間地域においては、自然動態、社会動態ともに減少しており、人口減少が進んでいる。</p> <p>施策達成度は施策1、2どちらも「△(要改善)」であり、今後も社会人口動態の転入超過を維持するため、事業実施の改善が必要である。 施策1の①については、興味・関心を持ってもらうために廿日市市の事を知ってもらう必要があるが、アンケート調査では市の公式Instagramを「知らなかった」という回答(91.2%)が多く、魅力発信の取組 について改善が必要である。 施策2については、現在の地域に住み続けたいと思う市民の割合のうち18歳～29歳が60.7%と低くなっているが、30～39歳では83.0%と高く、子育て世代から一定の評価がある一方で、若年層が市の 魅力をより深く認識し、愛着心を育むことができるよう取り組んでいく必要がある。</p>									
今後の対応 (Action)	<p>子育て世代をメインターゲットに、市公式Instagramの効果的な活用等、メディアプロモーションの取組を推進するとともに、一定の成果が出ている空き家バンク制度について、登録物件の掘り起こしや情 報発信の強化を図る。 中山間地域については、HIROHAI佐伯総合スポーツ公園の再整備に着手し、賑わいを創出するとともに、回遊を促進することで更に魅力を向上させる。 児童、生徒のシビックプライド醸成は、その後のライフイベント(就職、結婚、子育て、住宅購入など)に向けた種まきのような事業であり、結果がすぐに現れる取組ではないが、将来的な定住促進につな げるため、引き続き、ふるさと学習や地域との交流活動などの取組を実施していく。</p>									

推進会議の意見

- ・市の公式Instagramを「知らなかった」という回答が91.2%と多くなっているが、周知がうまくいっていないのではないか。
- ・「現在の地域に住み続けたいと思う市民の割合」について、18歳～29歳で数値が低い。もし、18歳～29歳の社会動態が社会減であるならば、アンケート項目自体を「10年後に廿日市市に戻ってきたいか」等に変えていく必要がある。
- ・施策1のKPI「②20歳代～40歳代の転入者数」について、目標値には達成していないが転入は増えている。例えば、この層の人たちがどんな人なのか分析はしているのか。もう少し転出世代の層を詳しく分析し、戦略を立てていけたら良いと思う。

総合戦略 効果検証シート

【資料1-1】

基本目標 (Plan)	3 子育て世代に選ばれ続ける「そこ！」が大事 子どもたち、みんな“はつかいちの子” ～みんなで子育て～						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
合計特殊出生率	1.41 (H30年度確定値)	1.33 (R2年度確定値)	1.43 (R3年度確定値)			1.44	○
0～14歳の社会動態	転入超過 (203人)	転入超過 (255人)	転入超過 (210人)			転入超過	◎
将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	(小学校)85.9% (中学校)76.4%	(小学校)80.6% (中学校)69.7%	(小学校)81.8% (中学校)71.2%			(小学校)89.0% (中学校)78.0%	(小学校)△ (中学校)△

【KGI・KPIの進捗状況凡例】
 ◎:目標値達成
 ○:現状値(R1)から改善
 △:現状値(R1)と同数又は後退

【施策の評価凡例】
 KPIの平均点が
 4点以上:達成 2点以上4点未満:やや達成 2点未満:要改善
 (KPIの進捗状況 ◎:5点 ○:3点 △:1点)

施策体系	施策達成度								
施策1	子育てが楽しくなるまちづくり	要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①この地域で子育てをしていきたい人の割合		98.1%	98.4%	97.6%			99.0%	△
	②ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合		81.6%	84.1%	81.2%			83.0%	△
施策2	まち全体で子どもを育てる	やや達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①コミュニティ・スクールの導入校数		0校	3校	11校			27校	○
	②ICTを活用した授業を実施している教師の割合		(小学校)72.0% (中学校)67.4%	(小学校)66.1% (中学校)67.0%	(小学校)77.2% (中学校)74.3%			(小学校)100% (中学校)100%	(小学校)○ (中学校)○
	③外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいと思う児童・生徒の割合		(小学校)81.9% (中学校)49.9%	(小学校)68.8% (中学校)50.3%	(小学校)68.5% (中学校)53.7%			(小学校)85.0% (中学校)60.0%	(小学校)△ (中学校)○
	④朝食を毎日食べる児童・生徒の割合		(小学校)96.0% (中学校)94.3%	(小学校)95.4% (中学校)92.2%	(小学校)96.1% (中学校)93.7%			(小学校)100% (中学校)100%	(小学校)○ (中学校)△
	⑤自分の良さは周りから認められていると回答した児童・生徒の割合		(小学校)74.6% (中学校)72.2%	(小学校)76.3% (中学校)70.7%	(小学校)79.6% (中学校)74.5%			(小学校)75.0% (中学校)75.0%	(小学校)◎ (中学校)○

総合分析 (Check)	<p>KGIの中で「合計特殊出生率」は「○(現状値から改善)」、「0～14歳の社会動態」は「◎(目標値達成)」となっており、子育て世代に選ばれるまちづくりに一定の成果が出ている。一方、施策1のKPI①②の進捗はともに「△(要改善)」であるため、引き続き、安心して子育てができる環境を整えることで、目標値達成につなげる必要がある。</p> <p>KGIの「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」は「△(現状値から後退)」となっており、引き続き、ICTを有効活用できる環境整備に努めるとともに、外国人とのコミュニケーションの機会を増やすなど、施策2の②③に注力することで数値改善につなげていく。</p>
今後の対応 (Action)	<p>市独自の施策であるこども医療費給付事業や不妊治療費助成事業の維持・制度拡充を検討していく。また、引き続き各地域のネウボラや関係機関との連携を実施し、妊産婦が安心した出産・育児を迎えられるよう、支援する体制を推進していく。</p> <p>小学校においては、ALTと児童一人ひとりが関わる機会を確保するため、授業以外での場の設定を検討していく。また、台湾・基隆市との学校間交流を継続するとともに、姉妹都市であるニュージーランド・マスタートン市とのオンライン交流についても検討し、外国人とコミュニケーションが取れたという成功体験を経験させる。</p>

推進会議の意見

・「②ICTを活用した授業を実施している教師の割合」や「③外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいと思う児童・生徒の割合」に注力するとあるが、この取組だけでは将来の夢や目標は持てないのではないか。佐伯中学校では「カタリバ」という授業があり、地元企業の方がきて子ども達と対話をする。このような取組が子ども達にとって何かの良いきっかけになるし、まち全体で取り組んでいけたら良いと思う。

・「②ICTを活用した授業を実施している教師の割合」については、最終的な目標が100%になっており、難しい目標設定だと感じた。割合を100%にすることもできないことはないと思うので、目標や取組について再度考えていく必要があると思う。

総合戦略 効果検証シート

【資料1-1】

基本目標 (Plan)	4 「そこ！が好き」はつかいち ～はつかいちの心を育む～						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
まちに愛着があると答える市民の割合	78.4%	78.6%	77.3%			80.0%	△

【KGI・KPIの進捗状況凡例】
◎: 目標値達成
○: 現状値(R1)から改善
△: 現状値(R1)と同数又は後退

【施策の評価凡例】
KPIの平均点が
4点以上: 達成 2点以上4点未満: やや達成 2点未満: 要改善
(KPIの進捗状況 ◎: 5点 ○: 3点 △: 1点)

施策体系		施策達成度							
施策1	はつかいち大好きっ子！を育てる	達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	自分の住んでいる地域のことが好きな児童・生徒の割合		(小学校)92.7% (中学校)82.1%	(小学校)90.9% (中学校)78.2%	(小学校)93.8% (中学校)86.4%			(小学校)93.0% (中学校)86.0%	(小学校)◎ (中学校)◎
施策2	安心して暮らせるまちをつくる	やや達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①災害による死亡者数		0人	0人	1人			0人	△
	②市内の犯罪認知件数(廿日市署管内)		377件	329件	303件			320件以下	◎
	③適切に医療機関を利用できると思う市民の割合		41.2%	34.8%	35.4%			44.0%	△
施策3	住み続けたい！をかなえる	やや達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①都市拠点(市役所周辺)に必要な誘導施設の充足率		100%	100%	100%			100%	◎
	②支所周辺が地域の中心地としてふさわしいと思う市民の割合		77.7%	66.4%	70.4%			80.0%	△
	③公共交通で安全、快適、円滑に目的地まで移動できると思う市民の割合		71.9%	69.3%	70.1%			75.0%	△
	④地域課題を地域主体で課題解決に向けて取組をしていると思う市民の割合		15.8%	15.1%	14.3%			32.1%	△
	⑤福祉・介護に関するサービスが適正に提供されていると思う市民の割合		36.9% (R2年度)	37.0%	36.3%			50.0%	△
	⑥市民センターが利用しやすいと思う市民の割合		44.2%	44.1%	46.2%			50.0%	○

<p>総合分析 (Check)</p>	<p>KGIは現状値から1.1ポイント低下し「△(現状値から後退)」となり、R3実績値からも1.3ポイント低下している。年代別では70歳以上が2.2ポイント低下しており、全体に大きく影響している。施策3の④「地域課題を地域主体で課題解決に向けて取組をしていると思う市民の割合」についても、70歳以上で4.9ポイント低下しており、地域コミュニティの担い手不足や、町内会加入率の低下などによる地域課題への対応が引き続き必要となる。</p> <p>また、施策1のKPIIに関しては目標値を達成しており、この数値を維持していくことが将来的なKGIの改善に繋がるため、引き続き「ふるさと学習」等、シビックプライドの醸成に取り組むことが重要である。</p> <p>施策3②「支所周辺が地域の中心地としてふさわしいと思う市民の割合」については、大野地域で61.9%と地域別で一番低くなっているが、廿日市市多世代活動交流センターの「まるくる大野」の供用開始前のアンケート結果のため、今後は目標値に近づいていくと考えられる。</p>
<p>今後の対応 (Action)</p>	<p>地域自治組織に対する補助制度を見直しながら、地域内の合意形成、課題の見つけ方・課題解決への取り組み方を有識者等から助言を得ることができるよう、アドバイザー活用を取り入れ、課題解決への取組の始め方、事業の継続の仕方等を支援する。</p> <p>小・中学校において、ふるさとの魅力について発見したり、再認識したりできる体験的な活動や探究的な学習を充実できるよう計画的な支援を行う。また、ふるさと学習実践事例集の展示発表を継続するとともに、市民センター等に情報提供するなど、広く地域に発信する。</p>

推進会議の意見

- ・「③適切に医療機関を利用できると思う市民の割合」と、施策3のKPI「④地域課題を地域主体で課題解決に向けて取組をしていると思う市民の割合」の実績値が低いように感じる。
- ・地域課題の解決については、政令市レベルの話になるが、市民がスマホを使って自分たちの課題解決に向けて取り組んでいるので、今後広島市等でも活用が広がってきたら、広域連携で廿日市にも取り入れたりして地域課題の解決に向けて声を上げられるしくみを構築できれば、KPIの向上にも繋がっていくのではないかと思う。